



九州から北海道まで人気絶頂！

マンモスイタリアンA マンモスイタリアンB

マンモスイタリアンの特性と使い方

- 茎葉が巨大
- 濃緑色で栄養価高く
- 家畜の嗜好性良く(糖分含量高い)
- 多収な4倍体品種です。

マンモスイタリアンA……春まきでは、ほとんど出穂しないが、再生力旺盛で、夏の高湿・乾燥に強く、長期間利用できます。春まきの場合は、むしろ放牧用としての利用が適します。

マンモスイタリアンB……春まきで出穂が早く、2番、3番の出穂も一せいに早く、刈取利用に絶好です。

混播草地、畑地、水田前作などへ早春まきし、短期間に多収をねらう場合にも適します。

寒高冷地の春播適品種。

混播草地 草生回復にライグラスの追播

昨夏の夏枯れや、秋冬の障害で草勢のおとろえた草地には、ライグラスを追播し草生回復をはかるのがなによりです。

早春（2～3月）に施肥し、地表面を軽くカキ起こす簡易耕起を行ない、ライグラス種子をバラ播くだけで、草生は見ちがえるほど良好になります。

* 施肥量 過石40^{kg} 尿素20^{kg} 塩加15^{kg}

* 播種(追播)量 (10%当り)

採草地	マンモスイタリアンB	2.0 ^{kg}
	H・ワンライグラス	1.0 ^{kg}
放繫牧地	マンモスイタリアンA	1.5 ^{kg}
	マンモスペレニアル	1.5 ^{kg}

ライグラスの種類と利用法

イタリアンライグラス

1年生(暖地越年)で、生育が極めて早く、再生旺盛で短期間に良質飼料を生産してくれます。品種により、採草用と放繫牧用(寒地)に使い分けられます。

ペレニアルライグラス

3～4年生。葉は細く、光沢(ツヤ)があり、再生が早く、家畜のふみつけに強い放繫牧専用の牧草です。

優良品種：マンモスペレニアル (写真下)

(本年度は大量に種子を準備しております)

H・ワンライグラス

2～3年生。条件の良い暖地では永年生。イタリアンライグラスに似て、草丈が伸び、採草型ですが、再生良好で放繫牧にも適します。普通の混播草地に組入れ、広く利用されています。

イタリアンライグラス

(農林省育成品種)

オオバヒカリ

やや晩生系で、茎葉やや大きく、草丈高い大型多収の新育成品種です。耐寒性も強く多肥栽培に適します。目下増殖中です。

ワセヒカリ

極く早生種で、分けつ旺盛、暖地で水田裏作として秋播し利用するのに好適。また永年草地に混播する場合も他牧草にとって有利です。

トットリ系

早生種で、暖地の水田裏作などに利用します。

